

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	2. 幹線道路整備事業
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額
臨時	補助	計画	0	0	77,047

実施計画	第2章	人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	5年間計画額	830,387
	基本施策3	道路環境	令和3年度	0
			令和4年度	229,726
			令和5年度	335,188
	施策1	快適な道路の整備を推進します	令和6年度	265,473
			令和7年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	67,084	
本年度当初査定額	53,792	157,340

財源内訳	国庫支出金	地方債	一般財源
本年度当初要求額	35,384	31,700	△67,084
本年度当初査定額	28,392	25,400	103,548

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 工事：直弥Ⅰ-35号線、飯野Ⅱ-31号線 委託：飯田Ⅰ-21号線、飯野Ⅱ-31号線、都市計画道路及び幹線道路整備計画、交通量調査、上志津原交差点 用地：飯野Ⅱ-31号線、上志津原交差点 負担金：県道神門八街線、上志津原交差点 事務費</p>	<p>(事業の目的) 現状の道路網を踏まえ、アクセス性の向上や渋滞解消などに対応するため、幹線道路の車道拡幅整備や歩道整備を行い、市民生活の安心、安全、快適性の向上を図るとともに、観光人口の増加を目指し、国道県道や都市計画道路を軸とした道路網の構築に努めます。</p>	<p>(事業の効果) 歩道整備や道路拡幅により道路利用者の安全性や快適性の向上が図られるとともに、幹線道路網の整備により交通渋滞の緩和や交通事故削減が図られます。また、アクセス性が向上することで地域間交流の拡大、市内観光施設への来客数の増加が見込まれ、地域経済の活性化が図られます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 厳しい財政状況下での公共事業予算の確保は、市民ニーズに対応した事業実施において最大の課題であります。また、道路拡幅用地の確保における地権者の協力が得られず、整備計画に影響が出ている路線があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 国費を活用し整備を続けている路線について、引き続き事業を進め早期効果発現に努めます。また、通学路における歩行者通行空間の確保をはかるため、早期効果の発現が見込める路線の設計を行います。</p>	<p>(見積についての特記事項) 市内の各地区を結ぶ道路は、幅員が狭く、各所で交通渋滞が発生していることから、交通渋滞の解消、安全性の確保、利便性の向上が求められます。また、歩行者（通学路）における安全対策についても大きな課題となっており、このことから幹線道路等の整備は必要であります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	8	28	△20
10	188	98	90
12	26,835	31,722	△4,887
14	60,533	27,335	33,198
16	31,928	12,576	19,352
18	34,000	2,500	31,500
21	3,848	2,502	1,346

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	16	02	04	01	02	00	社会資本整備総合交付金	35,384	28,392	18,067	10,325
	23	01	03	01	03	00	幹線道路整備事業債	31,700	25,400	16,200	9,200
差引一般財源								△67,084	103,548	△34,267	137,815